

Zホールディングス株式会社 第26回定時株主総会 株主様からのご質問について

2021年7月1日

Zホールディングス株式会社

先般は、Zホールディングス株式会社 第26回定時株主総会にご出席等いただきまして、誠にありがとうございました。

本株主総会の開催にあたり、株主の皆様にお寄せいただきました全質問につきまして、以下のとおり、回答とともに公開いたします。（本株主総会当日にお答えしたご質問ならびに本株主総会開催前にご回答いたしましたご質問も含まれます。）

ご質問については、インターネットを通じて株主の皆様からお寄せいただきましたご質問は原文のまま、ご来場の株主様からいただきましたご質問およびご回答は要約して、掲載しております（詳細は、配信動画をご覧ください）。また、複数の株主様よりいただいた同種の質問につきましては、まとめてご回答いたします。

なお、ご質問の内容が、個人のプライバシーの侵害となる可能性がある場合やご質問者以外の方の権利・利益を侵害するおそれがあると判断させていただいた場合等は、ご質問原文の修正、回答の差し控え等をさせていただくことがございます。

I インターネットを通じてお寄せいただきましたご質問

No.	ご質問	回答
1	2021年3月期剰余金配当について、配当金総額を前期と概ね同額とされたことはLINE株式会社との経営統合前のZホールディングス株式会社株主が被る不利益への配慮を欠くものであり、次期以降の剰余金配当に当たっての見解を伺いたい。	2021年3月期の期末配当金につきましては、中長期的な成長や企業価値向上の投資資金を確保しつつ、配当総額について昨年度と同額の約422億円とさせていただきますが、経営統合に伴う発行済株式総数が増加したことにより、1株あたり配当金は5.56円となりました。 当社としましては、成長投資をし、業績を上げ、株価を上げることが一番の株主還元と考えています。 株主の皆様への還元も同様に重要な責務と考えておりますので、配当につきましても株主還元の1つの方法として、今度も検討を続けてまいります。
2	いまやLINEもZHDグループ、積極的に使いたい。そのためにも安心したい。改めてデータ移管計画とグループの情報管理対策について聞かせて欲しい。	LINEに関する主なデータの国内移転計画は、LINE社の特設ページで公開しているとおりです。（ https://linecorp.com/ja/data_transfer/ ） ・トークで送信した画像・動画・ファイルデータは2021年6月末までに完了予定。 ・タイムラインにおけるLINE公式アカウントのデータのうちテキストデータについては、3月の発表時点から変更があり、2022年12月に移転完了予定。 ・アルバム内の画像データについては、2024年前半までに既存データを含む国内移転を完了予定。

No.	ご質問	回答
		<p>・Keep 内の画像・動画・ファイルデータは、2022 年 6 月までに既存データを含む国内移転を完了予定。</p> <p>その他のデータの国内移転スケジュールにつきましても、上記特設ページにおいて、今後も随時更新していく予定です。安心してご利用いただくためにも時折ご覧ください。</p>
3	<p>金融ビジネスの領域では、LINE との重複が多々ある。この点、ZHD としてはどのように整理統合していく方針なのかをご説明いただきたい。</p> <p>特に銀行は、単一企業グループ内に 2 行存在するというのはあまりにも不合理ではないのか。</p>	<p>非常に大きなサービスであるヤフーと LINE が統合したため、グループ内で重複サービスが存在していることは事実です。</p> <p>グループ内でシナジーが効くサービスはそのまま展開をし、シナジーが生み出せないものは議論を経たのち、統合していきたいと考えています。</p> <p>今後、プロダクト委員会での議論を経て、適切なタイミングで適切なサービスを提供していきたいと考えています。</p>
4	<p>LINE の件で新生 ZHD の船出はつまずいた。議案に反対はしないが、出澤さんの選任理由と、出澤さん自身から就任にあたって決意表明を伺いたい。</p>	<p>(川邊代表取締役社長 Co-CEO)</p> <p>出澤氏は、旧ライブドアの経営再建を果たした実績を持ち、LINE 社の経営全般を統括し組織の統制において、強いリーダーシップを発揮し、当社と LINE との経営統合実現にも大きく寄与した実績があります。</p> <p>今回の行政指導を踏まえ、改めて社会的インフラでもある LINE を始めとする当社グループ全体のガバナンス体制の強化に継続的に取り組み、その社会的責務を果たすため、さらに、当社グループの速やかなシナジーの創出をリードしていくためにも、再任は適切と判断しています。</p>
5	<p>取締役選任について、業務執行の適正を欠く LINE 株式会社の役員であった者の選任は適当ではなく、候補者から除外すべきであるが見解を伺いたい。</p>	<p>(出澤代表取締役 Co-CEO)</p> <p>Z ホールディングスの Co-CEO としての意気込みを述べさせていただきます。</p> <p>今回の件で株主の皆様にご心配をおかけし誠に申し訳ございません。</p> <p>ガバナンスの強化、特にデータガバナンスの強化に最優先で取り組み、株主の皆様の信頼回復に努めてまいります。</p> <p>そのうえで、この大型経営統合を成功させるため早期のシナジー創出案件、新生 Z ホールディングスならではの企業文化の創出をリードしていきたいと考えております。</p> <p>新生 Z ホールディングスの可能性は非常に大きいと確信しています。経営統合の志である「日本からアジアへ、世界へ」という大きな目標に向かって、川邊とともに強力に推進していきたいと考えています。</p>

No.	ご質問	回答
6	<p>株価を上げる要因の一つは、皆が耳を傾けて以下に応援してもらおうかです。Line のいくつかの不便は調査委員会によって判明しましたが、これは企業グループがより良くなるためだと、企業アナウンスや会見などでもっと広く、頻繁に説明すべきです。悪く取られるニュースの時こそ重要です。考え方と今後の方策をご説明下さい。</p>	<p>株主様のご指摘のとおり、良くない出来事ほど、情報を公開し、真摯な対応をしていくことが、当社の使命・責務と考えています。</p> <p>LINE の情報管理の件も含め、情報を整理し、広報活動をしっかり行い、広く開かれた対話のできる会社にしていきたくと考えています。</p>
7	<p>完全オンライン総会の議案が出ているが、実現するとどのようなメリットがあるのかについて、改めて説明をして欲しい。</p>	<p>インターネットを活用することで遠隔地にお住まいの株主様や、外出ができない株主様にもご出席いただくことができるようになります。</p> <p>また、多くの方のご質問もお受けすることもできます。加えて、物理的な会場が不要になるため、開催コストの大幅な削減も可能になると考えています。</p>
8	<p>コマース事業の業績は堅調であるようだが、2020 年は特に新型コロナウイルスの影響がプラスに働いたことも考えられる。ワクチン等により外出制限が解除されていくことは業績に影響を及ぼすか。及ぼす場合はどの程度か。</p>	<p>2020 年度は、コロナ禍における巣ごもりの中で、期せずして、e コマースの業績が好調でしたが、株主様のご指摘のとおり、2021 年度は、コロナ禍からの回復期に差し掛かり、特に第 1 四半期（4～6 月）の成長には課題があると考えています。</p> <p>「物流」や「探しやすさ」等の e コマースの本質的なサービスクオリティの向上やプロモーションを行うなどにより、年間を通じては、前年度を超える e コマースの成長を図っていきたくと考えています。</p>
9	<p>完全バーチャル株主総会実施の直前に、停電などで開催することが当日困難となった場合、再度招集等を行い別日に実施するのか？</p>	<p>第 1 号議案が承認された場合、来年度は完全オンライン株主総会の開催を考えています。ご指摘いただいたような完全な停電が起きた場合、あるいは低速回線の株主様への対処、こういったものを、これから一年の間でしっかり検討し、株主の皆様にご迷惑をおかけすることがないようにしたいと考えています。</p>
10	<p>完全オンライン総会は、低速回線ユーザーや、ギガに制限があるユーザーを排除しかねないものであります。株主に平等な参加機会を与えるという趣旨からは、現在の、オンオフ併用が最も合致するものと考えます。ご見解をお願いします。</p>	<p>また、当社は情報技術を駆使して未来を創っていく会社ですので、様々な工夫を他社に先駆けて行っていき、来年は、完全オンライン株主総会のスタンダードとなるような株主総会にしたいと考えています。</p>
11	<p>株主総会の開催がネット（完全 ON LINE）のみとなる場合はデジタル技術を駆使して AR で実体験が可能な取り組みを次回から行えるか回答ください。</p>	
12	<p>バーチャルオンリー総会の際のネットワーク障害への対策はどのようなものでしょうか</p>	

No.	ご質問	回答
13	大変頑張っって役に立つ良いことをしていると思うのですが、株価が上がらないのはどうしてか、お考えを教えてください。	まず、大変頑張っているというお言葉を株主様からいただき光栄なことです。株価につきましては、経営統合の期待感と、現実にはこれからシナジーを生み出していくというタイミングのギャップにより、影響が出ているとの認識を持っています。
14	4/28 の決算発表も数字上は悪くはないと自負しているが、22年3月期業績見通し以外は情報開示がないせいかその後株価も下がった。その前にも個人情報の扱い不備、説明修正などで右肩下がりの株価であったが、今後は大きく飛躍(株価上昇)するのであろうか？情報開示をもう少し的確にして貰えないだろうか？具体的に聞きたい。	今後の対策としては、経営統合のシナジーを早く生み出すことと、積極的に情報開示に努めていきたいと考えています。
15	海外戦略について、利益に占める海外比率等具体的な目標があれば教えてください。	海外事業は強化をしていきたい分野です。現状は LINE を展開している地域に投資を行っている段階のため、現時点では利益に関する具体的な目標は持っていませんが、投資段階が終了し、売上増加から利益拡大の段階になった際には利益目標を持って取り組んでいくこととなります。
16	yafoo!も PayPay も愛用しています。株主優待制度を創設してくれませんか？	いつもサービスをご利用いただきましてありがとうございます。株主優待制度は、株主様への還元の一つの有効なオプションであると考えています。以前も様々な検討をいたしましたが、導入に至りませんでした。引き続き株主の皆様にとって最善な施策を検討してまいります。
17	増配の予定はないですか？	中長期的な成長や企業価値向上の投資資金を確保しつつ、配当総額についても総合的に検討をしていきたいと考えています。現在のところは、成長投資をし、業績を上げ、株価を上げることが一番の株主還元と考えていますが、株主の皆様への還元は重要な責務と考えておりますので、配当についても株主還元の1つの方法として、検討してまいります。
18	川辺取締役と出澤取締役の業務の棲み分けはどのようになっていますでしょうか。明確に切り分け、役割分担があるのであれば聞かせてください。	当社は現在、Co-CEO（共同最高経営責任者）制度をとっています。Co-CEO の最大の務めは、当社の企業価値を最大に引き出すため、ヤフーと LINE の事業シナジーを創出することと考えており、そのために共同で業務を行っています。また、当社としての最終判断は、代表取締役社長である川邊が行っています。
19	さきほど「Line とのシナジーが見えにくいのでは」というお話がありました。これはむしろ期待できると思います。一方 ZoZo のほうがどうするつもりなのか見えにくいです。ビジョンについてもう少しお聞かせください	当社は、2020 年代前半には、e コマースの分野で国内 No.1 になりたいと考えています。そのためには、1 つ目は 既存の e コマース事業の強化、2 つ目は LINE 社とのシナジーの創出に、そして3つ目が ZOZO となります。

No.	ご質問	回答
		<p>ZOZO は、ファッションにおける市場シェアがどんどん高まっていることに加え、化粧品、靴と横展開も始めています。</p> <p>これら3つを足し合わせて、2020 年代前半には EC 物販取扱高 国内 No. 1 になりたいと考えています。</p>
20	<p>ヤフーとLINE との最大のシナジー効果として今後もっと便利で豊かになる最も期待できる具体的なサービスを教えてください。</p>	<p>(川邊代表取締役社長 Co-CEO)</p> <p>e コマースが LINE のサービス・機能と連携することで、日本で最も便利なサービスになると考えています。</p> <p>例えば、LINE ギフトがヤフーのe コマースと連携し、品ぞろえを拡充するなどにより、e コマースをより便利で、楽しく、お得なものにしていきたいと考えています。</p> <p>(出澤代表取締役 Co-CEO)</p> <p>私も e コマースには非常に期待しています。</p> <p>加えて、LINE のオフィシャルアカウントを、ヤフーや当社グループの各サービスで活用することで、お客様や事業者様との接点を増やし絆も深めることなどができるようになるので、この辺りもご期待いただきたい。</p>
21	<p>LINE の個人情報問題の根本的な解決のために、ZHD の NAVER 保有株をソフトバンク側で取得するなどの検討はされていますか。</p> <p>韓国資本である LINE (当時 NHN ジャパン) のサービスを「国産 SNS」とブランディングして普及させたことが、そもそもの根本的な問題・ねじれであると考えています。</p>	<p>LINE 社の個人情報・データの取り扱いに関しては、株主様にご心配をおかけしております。改めて深くお詫び申し上げます。</p> <p>ご質問いただきました内容は、当社親会社である A ホールディングス社に関するご質問となりますので、当社からお答えすることはできかねます。</p> <p>当社としましては、LINE 社の改善の取り組みについて管理・監督を行っていくとともに、ユーザーをはじめとする皆様の声に真摯に向き合い、安心してサービスをご利用いただけるよう、早期の信頼回復に努めてまいります。</p>
22	<p>LINE の個人情報が中国に流出していた問題で、オンラインで PC と LINE 同時に使用する自治体主催の防災訓練が、急遽 LINE 使用無しとなりました。どうお考えでしょうか？</p>	<p>LINE 社の個人情報・データの取り扱いに関しては、株主様にご心配をおかけしております。改めて深くお詫び申し上げます。</p> <p>LINE 社におきましては、今回の指導を重く受け止め、現在、改善の取り組みを行っております。</p> <p>当社といたしましても、今回の件を重く受け止め、今後、このようなことが起こらないよう、有識者からなる特別委員会からのご指摘や提言を基に議論を深め、親会社として責任を持って、LINE 社の改善の取り組みについて管理・監督を行ってまいります。</p>

No.	ご質問	回答
23	<p>インハウス決済比率とはどのような指標であるか、ご説明願います。</p> <p>また、当比率が上昇している要因について、ご説明願います。</p> <p>さらに、当比率が上昇することにより、業績にどのような影響があるかご説明願います。</p>	<p>「インハウス決済比率」は、「Yahoo!ショッピング」「PayPay モール」決済額のうち、「Yahoo! JAPAN カード」、「PayPay」、「PayPay ボーナス」等の当社グループサービスを用いた決済額の比率を指す指標のことで、インハウス決済比率は、2020 年度第 4 四半期（1 月～3 月）において過去最高水準の 68.2%に到達いたしました。</p> <p>その上昇の理由としては、収益改善に加え、PayPay を起点とした当社グループサービス経済圏へのユーザーの囲い込みの進展によるものと考えています。</p> <p>また、収益性の観点では、インハウス決済比率が高まることで、一定程度外部への売上流出も抑えられるため収益性の改善につながる利点もございます。</p>
24	<p>貴社が情報を取り扱う会社であるにも関わらず、LINE の情報が中国からアクセス可能であった問題について非常に重く考えています。</p> <p>再発防止についてはどうお考えでしょうか？</p>	<p>LINE 社の個人情報・データの取り扱いに関しては、株主様にご心配をおかけしておりません。改めて深くお詫び申し上げます。</p> <p>本年 3 月に LINE ユーザーの個人情報が業務委託先の中国の企業からアクセスできる状態にあったこと等の報道がなされました。</p> <p>LINE 社は、データの取り扱いに関して、本年 4 月 23 日に個人情報保護委員会から、また、4 月 26 日に総務省から指導を受けました。今回の指導を重く受け止め、現在、改善の取り組みを行っております。</p> <p>改善の取り組みの進捗ですが、まず、中国の拠点から日本ユーザーの個人情報へのアクセスを遮断しました。また、従来のプライバシーポリシーにおいて、日本国外へのパーソナルデータの移転について、ユーザーの居住国以外の国または地域にある委託先などの第三者および第三国に移転する可能性があるという旨を記載しておりました。しかしながら、当該業務が発生する拠点がある国名などの個別事項についてはご説明ができておりませんでした。これらを踏まえ、プライバシーポリシーに具体的な情報を追記する等の改定を行いました。</p> <p>画像・動画等を国外で保管していた点に関しましても、国内への移転を順次進めています。</p> <p>今後もユーザーをはじめとする皆様の声に真摯に向き合い、安心してサービスをご利用いただけるよう、早期の信頼回復に努めてまいります。</p> <p>当社としましても、親会社として責任を持って、LINE 社の改善の取り組みについて管理・監督を行ってまいります。</p>

No.	ご質問	回答
25	<p>子会社の、LINE について、秘密保持の対応遅れが非常に気になっている、LINE の社会的影響力を十分認識していないようで非常に心配をしている。</p>	<p>LINE 社の個人情報・データの取り扱いに関しては、株皆様にご心配をおかけしておりません。改めて深くお詫び申し上げます。</p> <p>「LINE」は、国内でも個人・企業・行政などを含む多くのユーザーにご利用いただいております。またグローバルにサービスを展開しています。社会のインフラを提供する企業としての自覚と責任の重大さを改めて認識しております。</p> <p>また、個人情報保護委員会・総務省からの行政指導についても厳粛に受け止め、データガバナンス・セキュリティ体制の強化や、ユーザーの皆様へのよりわかりやすい説明等の取り組みを推進しております。</p> <p>本年 3 月に、LINE を含む当社グループにおけるデータの取り扱いをセキュリティ観点およびガバナンス観点から外部有識者にて検証・評価する特別委員会を設置し、6 月 11 日には第一次報告の提出を受け、その内容を公表いたしました。</p> <p>https://www.z-holdings.co.jp/pr/press-release/2021/0611</p> <p>今後も、特別委員会の提言を受けながら、世界トップレベルのサイバーセキュリティ基準への準拠等、ユーザーの皆様により安心してご利用いただくため取り組みをさらに強化してまいります。</p> <p>LINE 社における国内ユーザーの日本国外での個人情報の取り扱いに関して、次のお知らせ文書にもまとめております。</p> <p>https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2021/3680</p> <p>上記お知らせは随時更新をしておりますので、併せてご確認いただくと幸いです。</p> <p>当社としましても、親会社として責任を持って、LINE 社の改善の取り組みについて管理・監督を行ってまいります。</p>
26	<p>LINE の個人情報保護の杜撰さに国民の厳しい目が向けられています</p> <p>LINE のみならず Z ホールディングス全体として国民の疑念払拭に全力を挙げるべきとおもいます</p> <p>特に貴社は一部報道により中国、韓国との特別な関係を指摘されており、折からの国民の対中、対韓感情の悪化から貴社にも</p>	<p>まず本事案につきましては、3 月以降、ニュース等で報じられ、株主の皆様にも、ご心配をおかけしたと存じます。誠に申し訳ございません。</p> <p>本事案を機に、当社グループにおける、データの取り扱いをセキュリティ観点および、ガバナンス観点から外部有識者にて検証・評価する「グローバルなデータガバナンスに関する特別委員会」を設置し、6 月 11 日に、その第一次報告を、受領いたしました。</p>

No.	ご質問	回答
	<p>厳しい目が向けられており対中国、韓国依存体質の印象を払拭すべきと思います 具体策をお知らせください</p>	<p>その報告の中で、今後の課題・検証すべき事実として「過去に、再委託先であった、LINE China 従業員による日本のユーザーデータへのアクセスについての再検証」や「日本の利用者の画像、動画およびファイルの国内移転の適切性」「官公庁等への説明」等が上げられています。</p>
27	<p>今後、LINE の信頼回復はどのように取り組めますか？ ユーザーのプライバシー保護に関して今後はどのように取り組めますか。 今後、プライバシー保護に関して対策がある場合具体的にどのような対策を取りますか？</p>	<p>これらの課題につきましては、まずは、LINE 社自身が特別委員会の検証や、提言に、真摯に向き合い、社会の信頼を取り戻すよう 対応していくことが重要と認識しています。 当社も親会社として、しっかりと 確認やサポートを行ってまいります。 また、本事案の経緯や今後の対応などにつきましても、随時公表させていただくことで、</p>
28	<p>LINE の個人情報の取り扱いについて(1)日本の利用者の情報が中国上海の関連会社のスタッフが 2018 年 8 月から 2021 年 2 月まで閲覧できたことが発覚したが、どういう経緯で発覚したのか。(2) 11 日に特別委員会から発表された内容で、中国からのアクセスを検証できる履歴や記録が 1 年分しかないののでそれ以前を検証できないとの事だが。さらに踏み込んだ検証を行うのか。納得のいく説明をしてください。</p>	<p>透明性を高め、皆様に安心してご利用いただけるようにしてまいります。</p> <p>加えて、当社グループ全体としてもデータガバナンスの強化に努めてまいります。 当社では従来よりユーザーからの、同意取得を前提としたデータ連携を行っており、さらに「国際基準に準拠したデータ保護」および「国際的なサイバーセキュリティ基準である NIST に準拠したセキュリティ対策」も推進しております。 今後も当社グループとして最適なガバナンス体制を強化してまいります。</p> <p>なお、個人情報・データの取り扱いに関しては、当社は LINE 社から 2021 年 3 月 2 日に正式報告を受けております。その後、2021 年 6 月 11 日に特別委員会から第一報告を受領済みとなります。特別委員会では、今度の最終報告に向けて、さらに踏み込んだ検証をいただけるかと認識しています。</p>
29	<p>Yahoo ファイナンスの掲示板はなりすまし、嫌がらせ、いじめが横行しています。酷い嫌がらせをする人を野放しにしていますが、誹謗中傷を放っておくと自殺者が出てくるかもしれません。そうするとイメージが非常に悪くなるのですが、改善する気はないのですか？</p>	<p>株主総会の目的事項でないものの、当社グループのサービスに関するご質問ですので回答いたします。</p> <p>いつもサービスをご利用いただきましてありがとうございます。</p> <p>「Yahoo!ファイナンス」掲示板では 24 時間 365 日パトロール体制で、不適切なコメントが無いかをチェックしています。</p> <p>悪意のある行為には、これまでどおり厳しく対処してまいります。</p>
30	<p>YAHOO ショッピングを利用させていただいていますが、ポイント還元率がかなり高いです。出品店に負担はかかっていますか</p>	<p>株主総会の目的事項でないものの、当社グループのサービスに関するご質問ですので回答いたします。</p> <p>いつもサービスをご利用いただきましてありがとうございます。</p> <p>ポイントの原資について詳細はお答えしかねますが、今後も皆様に安心・安全に取引いただけるようにサービスの改善に努めてまいります。</p>

No.	ご質問	回答
31	時々通信が途切れますが、配信側に問題はありますか？	株主の皆様がご出席いただく際の通信環境等の影響により、配信映像や音声は乱れ、または一時中断されるなどの通信障害が発生する可能性がございます。 なお、株主総会開催中に、配信における技術的問題は発生しませんでした。

II ご来場の株主様よりいただきましたご質問（概略を記載いたします。詳細は、配信動画をご覧ください）

No.	ご質問	回答
1	「Yahoo!知恵袋」の投稿の質について	株主総会の目的事項でないものの、当社グループのサービスに関するご質問ですので回答いたします。 ヤフー知恵袋やコメントでご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。 AIを用いて不適切な発言を削除する等、日々改善を行っておりますが、これからも更に改善を続けてまいります。
2	PayPay 銀行の中小企業向け事業の展開とそのため M&A について	ディテールのみならず、デジタル化が進む中で中小企業に対しても営業活動を強化すべきというのは、おっしゃるとおりです。 ZOZO や PayPay 銀行などで営業を行っていきたいと思います。
3	「ヤフオク!」の評価の非対称性について	株主総会の目的事項でないものの、当社グループのサービスに関するご質問ですので回答いたします。 「ヤフオク!」の場合は当事者間の取引がメインのサービスであるので、当事者間で連絡を行っていただくのが基本となります。 ご不明点は、ぜひヘルプページから問い合わせいただければと思います。